

令和元年 11月
第 400 号



子供も大人も一緒に花馬づくり(神田)



おもな内容

- ・ 広報「大湫」400号達成… P2～P3
- ・ 「足又例祭」に思うこと … P4～P5
- ・ 大湫町に住んで46年 … P5～P6
- ・ 転入者 … P7
- ・ ハロウィン … P8



大湫子供会『ハロウィン』仮装
高齢者宅訪問 10/22(日)

広報「大湫」 四〇〇号達成!

昭和六十一年四月に創刊号が発行されて、今月の十一月号で第四〇〇号を迎えることが出来ました。今まで数えきれない多くの方に原稿をお願いしました。そして、たくさんの方に「ご愛読いただきました。その中で、節目々に掲載されてきた内容を振り返ってみました。

第一号(創刊号) S六十一年四月

広報紙の名称を町民から募集し、「広報 おおくて」に決定。お年寄りから子どもまで親しめる名前、町外の人からも関心を持って目を通してもらえよう願いが込められました。



第五〇号 H二年八月

大湫公民館建設に伴い、公民館建物にあった農協大湫支店が独立して、移動改築されオープンしたことを掲載しています。

第一〇〇号 H六年十月

大湫宿開宿三百九十年の年に宗昌寺本堂で中山道大評定が開催されたことが表紙を飾っています。

また、大湫宿の景観整備事業で観音堂の境内と宗昌寺の駐車場が改修されたことも掲載されています。

第一五〇号 H十一年一月

新年を迎え、平成十一年に計画されている「花の森づくり・国民文化祭・秋のさわやかウォーク」等への意気込

みが掲載されています。

第二〇〇号 H十五年三月

懐かしい大湫小・保育園の『学習発表会』が表紙を飾りました。

第二五〇号 H十九年五月

岳見高原キャンプ場の開村式を開催したことや、町民・パターゴルフ大会をおこなった事が紙面を飾りました。

第三〇〇号 H二十三年七月

「広報 おおくて」が三〇〇号を達成し、今まで取り組んできた事への思いや大湫の様々な歴史を刻んできた事への感謝と期待が綴られています。

リニューアルしました!

第三〇六号 H二十四年一月

時代の移り替りと共に、広報紙は名前が「広報 大湫」に、サイズもB五からA四へと変わり、文字も大きく見やすくなりました。そして、表紙はカラーになりました。

第三五〇号

H二十七年九月

「水辺に生き物と遊ぼう！」を土岐川観察館から講師を迎え『ホテルとトノボの遊泳パーク』で生き物調べをし、夏休みの思い出をつくったことが掲載されています。

これからも、町民とのコミュニケーションの場として、町外への情報発信紙として広報委員一同頑張ります。



瑞浪北中学校

最高の体育祭

北中二年 W・A

仲間と創り上げた、最高の体育祭でした。授業や昼休み、放課後などにみんなで精いっぱい練習しました。みんなでいろいろな作戦を立てながら練習ができました。体育祭を通して、仲間との絆が深まったと思いました。



「体育大会」が天候不順で21日から24日に変更となり、10月号では生徒さんの感想が間に合いませんでした。

十一月俳句

「新米」の幟のぼり立ててのこあきな小商

小商の幟は赤く天高し

山口雪子

天野辰代

透明のピアスの光る今朝の秋

峠来てうまき日本語秋涼し

リ・アップ “ひよも” だより

11月のお茶のみ会のおさそい

日時：11月6日（水曜日）

9：30～11：00頃まで

場所：大湫公民館 講堂

参加費： 50円

—— お待ちしています ——

大湫町コミュニティ推進協議会

「足又例祭」に思うこと

手島 敦

今年も随分と災害の多い年となった。毎年の様に列島を襲う災害に、目をおおうばかりである。各地での被害は甚大だ。他人事とは思えず、かと言いつても、何もできることもなく歯痒いが、被災地の皆様が少しでも早く普段の生活に戻られることを祈るばかりである。

「祈る」と言えば、今年も我が足又地区にも例祭が巡ってきた。前日の雨模様は嘘の様な秋の快晴となり、こうして平穩に例祭を迎えられる事をありがたく思う。

早いもので、この地にお世話になり26年の月日がたった。今年もかわらず、皆の安寧とこの国の平和、人々の幸福を祈り、全ての物事に感謝し村人

一同が募るなか、厳肅に例祭は執り行われた。

何と言つても行事の中で、「祈り」を捧げる一同に混じって神妙な姿で見よう見まねでも、一生懸命お祈りをする子供たちの姿を見て、いつも感動と感謝の気持ちになる。年を追うごとに子供の数は減ったとはいえ、この子供たちの姿の尊さ、有難さを常に感じている。子供たちは全く無垢で素直な態度で祈っている。何とは無しに神妙な態度でいなくてはならない雰囲気を感じ、大人の発する祈りの言葉すらわからないのに(十分大人の私でさえ本当はあまりわかっていないのだが)、兎に角シンとして祈るのである。

思えば「祈り」を捧げている、目には見えない大きな力に、ほんの短い間

命を与えられ、それぞれが大いに悩みながら生きている私達人間が、少しでも皆が幸せに生きられます様、自然界の全てのいきもの、万物が安寧でありますことをお願いしている。自然界を一番乱しているはずの人間が、都合よく祈っているわけではあるが、誰しも争いや諍いを好むはずはなく、素直に畏怖を感じ祈ることは、とても大切な事と感じている。

「ものづくり」に携わる人間のひとりとして、人に近い、自然に優しいものづくりを手づくりを通して考えてきた。技術が進み、一見便利に生活ができる様になった気がしているのだが、本当に心豊かな生活なのだろうか。独りよがりな利己的な幸せに偏ってはいないのだろうか。経済が発展する事と心の幸せは比例しないのではない

か。昔、自分の祖父母たちの年代の人たちの『明治』はよかったなあ」という言葉が、年を重ね「エアコンもパソコンもなかったけど『昭和』はよかったなあ、戻りたいなあ」と言っている自分の姿に見事に重なっている。

目に見えぬ大きな力に祈る気持ち、「山川草木悉皆成仏(すべてのものに神仏が宿る)」の心と未来に生きる人々のあり方を、「祈る子供たちの姿」から考え直して見ようと思っている。

今年の「足又例祭」は10月20日に開催されました。



大湫町に住んで46年

山口清重

『広報大湫』を発行されてから400号になるんですね。白黒の広報第一号を見ながら長年発行に努力されているコミュニティ推進協議会広報委員会の活躍に感謝いたします。

世の中にあれこれと問題が多い。国の政は、チョコビ、チョコビと消費税なるものを上げてくる。「福祉・教育に利用します」というものの、消費の落ち込みが懸念される。それでも消費者の多くも「2%ぐらいなら」と、大して気にしていないようにも思えるのだが……。

「大湫町動植物調査に

参加しよう」

大湫の自然保全委員会は、環境省がおこなっている「モニタリングサイ

ト1000」(長期生態系観測で1000カ所以上を調査対象とし、環境推移を見ようとする調査)に参加している。この調査は100年にわたっておこなわれる。2003年から実施され、今はその4期目(1期5年間)となり、大湫の調査は、2018年からスタートし、2年目をまもなく終えようとしている。

この調査への参加は自由なので、できるだけ多くの方が参加され自然環境がどうなっているのかを知る良い機会が得られると思う。

大湫から中山道を神田方面に向かい、ヒトツバタゴの自生地を通過して県道で大湫まで戻るコースで、毎月



4週目の日曜日におこなわれる。我々が調査する中山道コースでは、植物が中心だが、全国調査は動植物全般となつている。ふだん見向きもしていなかつた植物たちの不思議な発見や、昆虫の世界の不思議さに出会うことができる良い機会だ。

たぶんこのチャンスを逃がしたら、次の知る機会に出会うのがいつになるかわからない。

私が自然界の不思議を知つたのは4歳ごろの経験だ。年上のガキ大将に付いて朝早くに桑畑に行き、セミ取りをしたり、まだ飛ぶことができない成虫になったばかりのセミを捕まえることは簡単だった。セミの抜け殻を火であぶって食べた。コリコリ美味しかった。

ガキ大将は何でも知っている。威張ってはいいたが、弱い者いじめなんて

ことはしない。特に自然界のこと、アケビ・サルナシはどこにあるのか、いつ食べるのか、そしてイタドリなどは必ず塩で揉んで食えなど、「俺に何でも聞け」とばかりに、とにかく威張っていた。このことを次々と下級生に伝承していくのも「ガキ大将」の努めだったようだ。

ハシバミ・ナツハゼ・マツブサ、……。ヤマボウシ・マタタビなどは、甘かつたが酸味が少しあつたら、もつと美味しいと思つた。ケンポナシの果実の一部が甘くて食えるなんてことは、これからの若者には知る機会が無いかもしれない。

自然界は時に逃げられない災害に見舞われる。先日、千葉にやって来た台風15号で、「水が無い。食料がない」などと災害に遭つた方々の苦労は経験者でなければわからない。私もとん

でもない経験をしたことがある。一夜に700mmの豪雨で長野県飯田市近郊は1か月にわたり陸の孤島になつた。昭和36年夏の災害だ。

大湫町では20数年前の5月から115日間、空梅雨で多くの井戸は干上がり、雨が降つたのは8月の中頃だった記憶がある。天然水を利用していた大湫の家庭の井戸水は不足し、最後の頃には飲料水もない家庭まででてきた。その後水道水として東濃用水を引くことになつていった。

自然は無慈悲で、容赦ない。「環境問題」を「セクシー」に、なんて誰の台詞だ。

*モニタリング調査に是非参加して下さい。次々と新しい発見があつて楽しくなります。今年最後の調査は、2019年11月10日の日曜日、朝9時。宗昌寺の広場に集合してください。

ようこそ大湫へ

大湫町の皆様はじめまして。
この度、大湫町に移住することになりました、あきひろ田村啓と妻のふみと申します。よろしくお願ひします。

私達は名古屋市に住んで

いて、三十歳を過ぎた時期にこ

れからの暮らしをどのようにするか考えていました。そんな中、私の出身が日吉町という縁もあり、自然豊かで丁寧な管理された町並みや里山が残る大湫町に心惹かれ、何度か足を運ぶ機会がありました。生業である庭師として独立したり、これから子育てをすることへのイメージをふくらませ、大湫町に住むことを決めました。そんな時に古民家再生活用事業等の大湫町のプロジェクトと関わる機会を持ち、皆様の御協力のもと、コミュニティー

センターの隣の「米屋」に居を構えることができました。これから大湫町民として、大湫の地を感じ、楽しみ、家族で豊に暮らしていけたらと思っています。

大湫町「米屋」

田村 啓・ふみ



オススメ！大湫分室の本

『庭に小さなカフェをつくったら、みんなの居場所になった。』

みやの森カフェ：著

カフェには、入れ替わり立ち替わり様々な人が訪れます。生きづらさを抱える人たちに新しいつながりを作る場所を提供します。

デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

9月：45便 延べ81名

ご招待券あります(各2名様)

○企画展

- ・「囊 HOH 伊村俊見の陶」

期間：12月8日まで

場所：市之瀬廣太記念美術館

- ・「印判手のやきもの

馬杉コレクション展」

期間：令和2年1月13日まで

場所：市陶磁器資料館

企画展示コーナー

大湫子供会ハロウィン

イベントについて

棚橋哲夫

10月22日大湫町

内小学生6人で西

区、北区のお宅

12軒を回りお菓子

をもらうハロウイ

ンイベントを行

ました。桐井加奈

さんにお手伝い



ただき、お菓子を貰う方への返礼として折り紙を使ったリースを子供たちが作りました。子供たちは魔女やかぼちゃ、悪魔などに仮装し町内の方々に驚かそうとわくわくしてお宅を訪問しました。訪問させていただいたのは主にご高齢の方々に、みなさんやさしくお声をかけていただきました。今回のイベントは子供たちから「やって

みたい！」との提案で企画をさせていただきましたが、大湫町内のみなさんのご協力により実現ができました。今の子供たちが大人になったときにこの地域で子育てをしてみたいと思ってくれるといいなと思います。ご協力いただいたみなさまありがとうございます。

大湫町ハロウィン

釜戸小6年 A・Y

今日はハロウィンパーティーをしました。わたしは「あくま」の仮装をしました。町内をまわっているんなお菓子をもらったりして楽しかったです。



『転入対策をすすめています』

空き家対策がさげばれている昨今、どこの地域でもその土地の特色を生かした取り組みが活発に行われています。

転入者を暖かく迎えたい、大湫の活力を持続させたいという思いで、転入希望者のお手伝いを続けています。現在の状況を一部お知らせします。西森川家については、事業者は現在ありません。親族の方(落合在住)その関係者の方々(西森川盛り上げ隊)のお骨折りで、少しずつ改善されていきます。あります。杉浦氏(柳屋)については、一カ月の内半分は名古屋に住まうという生活状況です。

今後も空き家を上手に活用出来る様、皆様からの情報提供をよろしくお願ひします。

転入対策委員会 棚橋和代

第5回「オオクテ・ツクルテ」開催 10/26・27 (土・日)

前日の大雨で心配されましたが、当日は雨も上がり上々の天気。早朝よりスタッフの皆さんが準備に奮闘。午前9時30分には準備万端お客様を迎えることが出来ました。



女の子に大人気
だった食品のミニ
ニキュア!



「ポーノポー」
が復活!
美味しかった
よ...



昭和・平成の歌にみんな
酔いしれたとか…?



宿内ストリートのお店も大繁盛

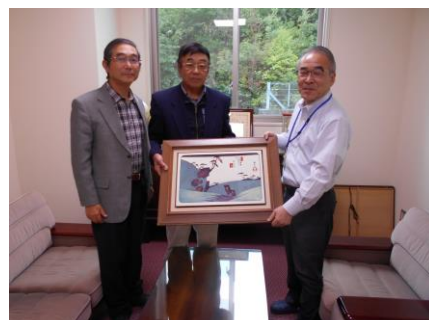
今年も大盛況のうちに終了。でも一番の立役者は、前日にはカッパを着て、当日は午前6時からそして、翌日は午前9時からの片付けと頑張ったスタッフでは…?それに、交通整理の皆さんも大変でした。皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

大湫宿含む六宿(木曾海道六十九次)寄贈

地元の病院として、日頃より大変お世話になっている大湫病院より、「中山道大湫宿」含む六宿の陶板を寄贈いただきました。早速、公民館ロビーの図書コーナーに展示させていただきました。

地域に立脚する病院として発展されますよう、また地域と密接な関係が一層構築されますよう願っております。

ありがとうございました。



抜穂祭 10/4(金)



おいしいお米
が出来ました



天皇陛下の皇位継承に伴う「大嘗祭」で使う米を収穫する祭祀が行われました。

5月21日に田植えの祭祀を行い、丹精込めて

育てられたコシヒカリは、黄金色に実りこの日を迎えることができました。

「耕作者：大湫機械化営農組合」

*大湫宿お休み処

11月の営業は3日(日・祝)・4日(月・振替)・10日(日)・17日(日)・24日(日)です。

皆様のお越しをお待ちしております。

☆当日(急ぎ)の予約は丸森へお願いします。TEL: 0572-63-2455

*おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)

11月営業日 第2・第4土曜日

営業時間 AM9:00~AM11:00

営業場所 ふれあいセンター



女性は男性の一部？—大人の生物学

「主はアダムを深い眠りに落とし、彼の肋骨を1本抜き取って、女を造り上げた」。こう旧約聖書に記されています。つまり女性は男性のあばら骨の一部なのです。だが、子宮の中でどのように人になっていくのかをたどると、最初は女性になる方向。女性が原型です。つまり、女性からすこしずつ男性に修正されていくようなものです。

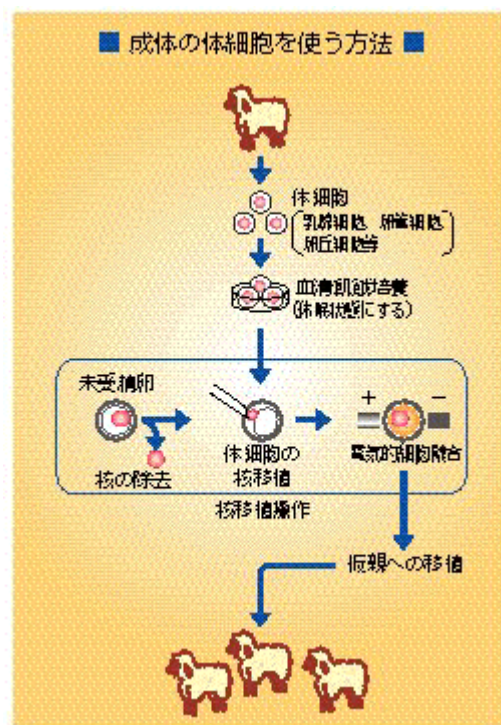
自然界には、メスだけで子孫を増やす生きものは珍しくありません。オスを必要としないのです。単為生殖です。ミツバチやアブラムシの例は教科書にも紹介される代表。魚類や鳥類*でも知られています。この単為生殖を放棄した生きものは、ほ乳類だけ。

*魚類=ギンブナ 鳥類=七面鳥

ところが、ほ哺乳類のマウスの卵に人的操作を加えることで正常に子どもが誕生したと報告(2004)。繁殖能力もありました。「男は不要？」ということなのでしょう。

羊の細胞(体細胞)の核を卵細胞の核と交換することで子どもを作り出した、と報告がありました。これが「クローン」。コピーのようなものです。1996年、大きな話題となりました。こうして誕生した羊は、ドリーと命名され、6歳で病にかかり安楽死。

植物の世界では、こうしたコピー方式による次世代の誕生は、ごく普通。イチゴのランナーやユリ・ヤマノイモのムカゴは、この例です。



文部科学省WEBサイトより

文責 長谷川 明

青色回転灯防犯パトロール

11月のパトロール予定者

11/上旬	向井一峰、 瀬瀬富久
11/下旬	吉野信幸、 小栗 司

10月の丸森だより

10月23日まで

訪問者	町外		町内		合計	その内 (外国関係)
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
	649	209	106	22	986	122
					R1,4月～	5,571人
					オープンから	26,553人

10月のおもてなし

- 大垣赤坂中(2年生約169名) ボランティアガイド9名が参加し、8ヶ所で定点案内
- 神明白山秋祭り 新しくなった山車のお披露目も兼ねる
(町内外参加者約300人) ツクルテと同時開催の昨年より若干少ない
- ボランティアガイド講座(6人) 細久手・大湫を3時間で実地研修
若者の参加者が無かった
- 学芸員と巡る(20人) 多治見美濃焼ミュージアムの主催
学芸員とボランティアガイドで解説案内
- 岐阜県外国語研修会 県と岐阜新聞の主催で通訳ガイドの現地研修
(通訳ガイド10人、 参加外国人32人) ガイドの説明を外国人に同時通訳する形態
県の海外戦略推進の一環
- 外国人関係(10回、約120人)
- 団体・ツアー(7団体、約100人)

*台風19号でオープン以来初めて臨時休館日(当日の外国人ツアーが中止になったので)
*初めての国や県 イスラエル・スリランカ・中国。高知

11月のおもてなし

11/3(日)	ぎふ17宿イベント (着物を着てインスタ映え)	•応募者 侍女2名への着付け •丸森職員で対応
11/8(金)	釜戸小3年生 (大湫宿散策)	•ボランティアガイドが案内
11/10(日)	ぎふ17宿イベント (着物を着てインスタ映え)	•応募者 侍女3名への着付け •丸森職員で対応
11/17(日)	JR さわやかウォーキング (侍女・武士の往来)	•ボランティアガイドが観音堂・山車蔵 定点案内 •侍女・武士等は依頼する •丸森職員で対応
11/23(土)	ぎふ17宿イベント (大湫から御嵩へウォーク)	•スターと受付を丸森職員で対応
11/24(日)	ぎふ17宿イベント (着物を着てインスタ映え)	•応募者 侍女2名への着付け •丸森職員で対応

*和宮関係(衣装・籠・資料)の展示及び内掛けを着る体験も

赤坂中のみなさん、今年もようこそ大湫宿へ！

10月3日(金)、大垣市立赤坂中学校2年生(169名+引率者10名)がこの大湫宿を訪れました。赤坂中では特色ある教育活動の一つに「中山道に生きる」を掲げて歴史学習に取り組んで見えます。今年も瑞浪市ボランティアガイドの会と交流を行いました。



4・5組の全体会(挨拶とボランティア紹介)

ガイドのメンバー9名が協力して、8つのポイントで定点案内(本陣跡、丸森、宗昌寺、問屋場と白山神社、脇本陣、神明神社と1300年大杉、観音堂、高札場)をしました。今日は特別に脇本陣の中にも入らせていただきました。



グループ散策 脇本陣での説明



1・2・3組の全体会

すぐに活動に

中山道でつながる大湫宿と赤坂宿、宿の規模が違えど宿場の面影を残す2つの町、これからも交流を大切にしていきたいと思ひます。



後半グループも丸森へ立ち寄り ススキのミミズクが出迎え

11月には中山道赤坂まつりにも参加し地元を盛り上げているそうです。

生徒たちが大湫宿散策を通して詠んだ俳句をご紹介します。

- | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------|----------------|----------------|--------------------|---------------------|------------------|--------------------|
| ・ 大湫の杉からあふれる ハイパワー | ・ 歴史ある 今の財産 未来へと | ・ 思い出す 地域の人のあたたかさ | ・ 大湫の空見上げるたびに 心清らぐ | ・ 大杉を 見上げて口がふさがらない | ・ 観音堂 並んでおまいり 願い届け | ・ 山間に 残った宿場 大湫宿 | ・ ご神木 長い歴史を物語る | ・ 静かなる 大湫宿に 和宮 | ・ 飛鳥から 歴史を見てきた 大杉だ | ・ たくさんの やさしい人たち 大湫宿 | ・ 大湫の古い町並み いつまでも | ・ 大杉の パワーをもらいに 大湫宿 |
| 安田 暁毅 | 頼 宗暉 | 茂木 颯馬 | 伊藤 勇樹 | 稲川 実咲 | 横幕 紗英子 | 後藤 悠里 | 折戸 尊 | 渡邊 史竜 | 川瀬 由奈 | 横川 大和 | 近藤 寛汰 | 長澤 佑花 |

安心して暮らせる

国づくり

今年の夏は、記録的な猛暑が続いて熱中症で病院に運ばれる人が続出した。

大型で強い台風が相次いで上陸し、大きな被害をもたらした。一か月分の雨が、一日で降るといふ猛烈な雨により、各地で豪雨災害が発生した。

中でも九月末に上陸した一五号台風は、房総半島から東北にまで家屋や農作物に被害をもたらした。その復旧が手のつかぬ中に十九号が猛烈な雨を伴って、各地に爪痕を残して伊豆半島に上陸した風よりも集中豪雨による被害が多かった。河川の決壊により、家屋や農業関係の被害が激甚で、佇む農家に復旧する気力があるだろうか。国の支援に期待したい。

毎年どこかで恐ろしい自然災害が起きている。台風や水害で家を失い、

家族まで失い涙も涸れる思いの被災された人達に同情すると共に、人災を繰り返してはならない。

自然災害には勝てない宿命と、農家は昔から諦めてきた。

地球規模で気温上昇を一・五度に抑える必要が望まれているが、エネルギーの使い過ぎで三度程度上昇しているとか。

国連では、二〇五〇年までに温室効果ガスの排出量を零にするよう、各国に呼び掛けているが、現在二百近い国のうち七十七か国と一千近い自治体が加入しており、地球温暖化対策に取り組む宣言をしている。

毎年台風の被害を受ける我が国は、積極的に加入する気配がなく、原発に代わって火力発電所の新設を進めており、加入各国より批判されている。

世界で一番CO2発生の多い中国は、国際ルールを守ると表明している。

先進国ドイツは、原発も持たずクリーンエネルギーを使つて工業生産をしている。

毎年のように台風の被害を受けて復旧に立ち上がる日本の農家の根性に、同じ農民として敬服する。最大の援助をすると被害者に約束する国は、「ない袖は振れぬ」と復旧を後回しにして応急処置で済ますことなく、次世代が安心して住める所にされることを、国民の一人として願わざるを得ない。



過日、各国の首脳が集まって温暖化対策について協議している時、スウェーデンの十六歳の少女が、実行を迫ったニュースを聞いて感心した。

「前門の虎後門の狼」、東南海地震が三〇年以内に七〇%の確率で発生すると予言されている。無駄を省いて防災対策に全力を投入していただきたい。

文責 天野長三郎

せらしお 2019年 11月の集まろう会

大湫町コミュニティ
推進協議会
集まろう会

- ☆ 11月の太鼓は。。。大湫町文化祭
- ◎ 11月3日 10時 ◦ 集合：9時20分 おもたかやです。
- 演目：証誠寺の狸ばやし・大杉

☆ 文化祭のときに、収穫謝恩祭をします(芋煮会)

集まろう会の畑で採れたサツマイモを使って作ります。
苗うえ、除草、手入れなど…お手伝いをしてくださった方々。
本当にありがとうございました。

- ◎ 展示もあります 展示希望の方11月18日3時から出展して下さい。
- ☆ お知らせ…布ぞうりづくりをします。11月21日 9時30分
足又公民会館です。会費：500円 終了時間は自由です。

～山びこどん～

☆ 先人の残された、とても大切な言葉を紹介します。

- (1) 「わいは、一人暮らしで、何時に起きようかかまやへんけど、朝7時に家の前を通って、学校へ行く子どもに『行っておいで』と言ってやりたいで朝早く起きることにしてるよ」
- (2) 「子どもたちからおばあさんたちに手紙が来たよ、それには、『運動会的时候は、見に来て下さい』と、書いてあった、わいは、行くよ、行くよ、今の自分の出来ることは、精一ばい手をたたいて応援してやることや」
…10年程前にお二人から聞いたお話です。子どものことを暖かく見守る心が、あふれていて、心のすきえにたのびています。

区長日記

10月13日、日本に上陸した台風19号は、日本列島に甚大な傷跡を残して過ぎ去って行きました。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。大湫町としては11月24日(日)に町民防災訓練を計画しておりますので、気を引き締めてご参加いただきますようお願いいたします。

10月に開催された大湫・神田・足又の例大祭は、いずれ劣らぬ好天に恵まれ、親類縁者を含めた老若男女相集い、神前に心を一つにして人々の無病息災・五穀豊穰、地域の振興発展を祈り感謝することができ、大変嬉しく思います。特に神明・白山神社例大祭に登場する山車の引き回しは、改修が完了してのお披露目となり、きっと氏子崇敬者の皆様方にも喜んでいただけたのではないのでしょうか。

昨今、地域・家庭・個人の横の繋がりが希薄になり、社会的孤立や孤独死などが課題となっていますが、神事などに代表される伝統行事は、人間社会の絆を確かめ合い、常

日頃からの助け合い精神の涵養に大きな働きをしており、大湫町としても大切にしていきたいと思えます。

区長会長 足立

10月2日 高齢者交通安全教室

3日 区長会・幹事会

4日 瑞浪市議会報告会

5日 竜吟幼児園運動会

6日 神明・白山神社例大祭

8日 大湫病院「中山道陶板」寄贈式

11日 みんなの農園脱穀・パターゴルフ場草刈り

12日 台風19号避難所開設

13日 神田奥権現神社例大祭

19日 景観協議会ワークショップ

20日 足又八幡神社例大祭

21日 「オオクテ・ツクルテ」草刈り作業

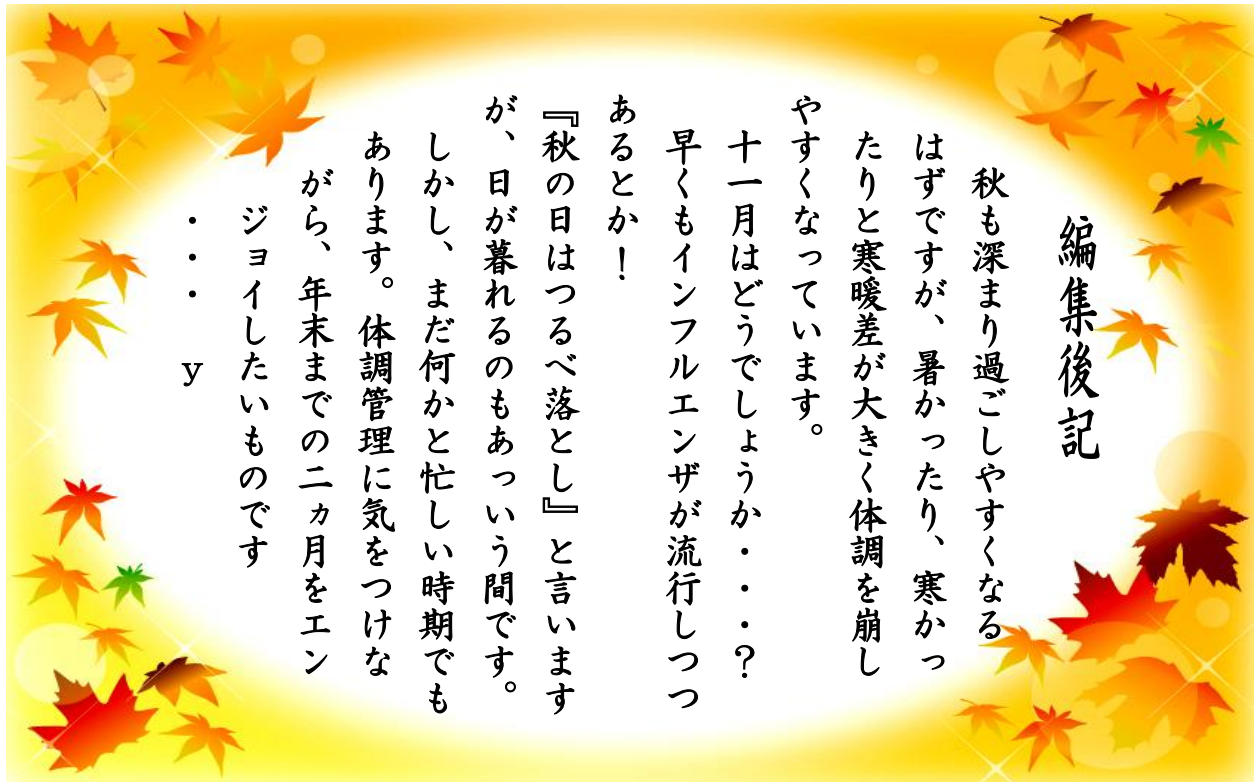
25日 「オオクテ・ツクルテ」準備作業

26日・27日 「オオクテ・ツクルテ」開催

令和元年十一月行事予定

日	曜	予	定
一	金		文化祭準備
(三)	日		*文化の日／大湫町文化祭&収穫謝恩祭
四	月		*振替休日
五	火		財産区全員会議
六	水		市・アツプ「ひよも」 市小中音楽会
七	木		転入対策委員会 釜小六年「大湫ふるさと歴史探検」
八	金		定例区長・幹事会／釜小三年社会見学
九	土		おしゃべりサロン／かしわや営業
(十)	日		モニタリング調査(今年度最後)
一三	水		市合同寿大学研修会
一五	金		「米屋ナイト」
一六	土		集まるう会太鼓練習
(一七)	日		JRさわやかウォーキング
一九	火		景観住民会議
二一	木		山びこどん(布ぞうり作り)
二二	金		子ども会
(二三)	土		*勤労感謝の日／神明白山新嘗祭 おしゃべりサロン／かしわや営業
(二四)	日		第二回資源回収／ひなたぼっこの集い 町内防災訓練
二八	木		釜小四年社会見学
二九	金		広報委員会

今月の資源ごみ:11/20(水)不燃ごみ:11/7(木)



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和元年11月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>

表紙：写真
 棚橋哲夫氏